

次期調布市教育プラン用語集（案）（施策1～4，7）

資料8

No	該当箇所	用語	説明
1	施策1	調布市教育委員会いじめ防止対策基本方針	いじめを「未然防止」「早期発見」「早期対応」「重大事態への対処」の4つの段階における取組等を示した基本方針のこと。2013（平成25）年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」を受け、2014（平成26）年3月に策定した。
2	施策1	心のバリアフリー教育	学校において、障害の有無に関わらず、交流や共同学習の機会を設け、各教科やスポーツ、文化・芸術活動等を教育課程に位置づける等、障害者理解の一層の推進を図る教育。
3	施策1	普通救命講習	小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施。心肺蘇生や自動体外式除細動器（AED）の使用方法等の技能を学び、自助・共助の力を身に付ける。
4	施策1	上級救命講習	市内小・中学校の教員を対象に実施。普通救命講習の内容に加え、傷病者管理や外傷の応急手当、搬送法等の技能を学び、教員の災害対応能力の向上を図る。
5	施策2	<u>Society5.0時代</u>	サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもの
6	施策2	<u>オリンピック・パラリンピック教育で培った5つの資質</u>	①ボランティアマインド ②障害者理解 ③スポーツ志向 ④日本人としての自覚と誇り ⑤豊かな国際感覚
7	施策2	(学校図書館における)レファレンスサービス	学校図書館において、児童・生徒が読書活動や学習活動で必要とする図書調べの案内や参考図書を提供し、知りたい情報や情報源を探す支援をすること。
8	施策2	<u>CBT</u>	“Computer Based Testing”の略称で、「コンピュータに基づいた試験方法」のこと。従来の「紙を用いた試験方法」は“Paper Based Testing”の略称でPBTと呼ばれる。
9	施策3	食育	生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるもの。
10	施策3	<u>Tokyoスポーツライフ推進指定地区</u>	東京都教育委員会が、学習指導要領及び東京都教育委員会の教育目標等に基づき、地域の実態に応じた運動習慣の定着を図るため、関係機関等との連携を踏まえた取組のモデルを全都に示し、運動習慣の定着に資する取組を推進することをねらいとして設置した地区のこと。
11	施策3	地域学校協働本部	地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」へと発展させていくことを目指していることが、「学校支援地域本部」などの従来の地域の学校支援の取組との違いである。
12	施策4	就学援助制度	公立の小学校・中学校等に在籍する児童・生徒の保護者を対象に、経済的な理由で子どもを就学させることが困難な場合、認定された方が給食費、学用品費、校外活動費、新入学準備金等の援助を受けることができる制度。
13	施策7	<u>カーボンニュートラル</u>	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。
14	施策7	<u>ゼロカーボンシティ</u>	脱炭素社会の構築に向けて、「2050年に温室効果ガスの排出量又は二酸化炭素を実質ゼロ」にすることを旨とする自治体のこと。

※用語欄で下線を引いているもの：次期教育プランから新たに追加した用語

※説明欄で下線を引いているもの：現行教育プランから内容の修正を行ったもの